

SPARC Japan第3期に向けて

2009年3月10日
国立情報学研究所

基本的な考え方

- ▶ 第1期、第2期の活動によって、パートナー誌の電子ジャーナル出版活動の支援と強化という目標については、一定の成果得た。
- ▶ 今後は、これまでの成果を生かし、学術コミュニティの構成員、大学図書館、研究者、学協会といったステイクホルダー全体を対象として、学術情報流通の改善を推進する活動に移行していく。

周辺状況

▶ 国立情報学研究所

- ▶ 情報・システム研究機構中期目標・中期計画：平成22年度より第2期開始。
- ▶ 機関リポジトリ構築支援事業：CSI委託事業第2期は平成20～21年度（平成22年度より次期）。

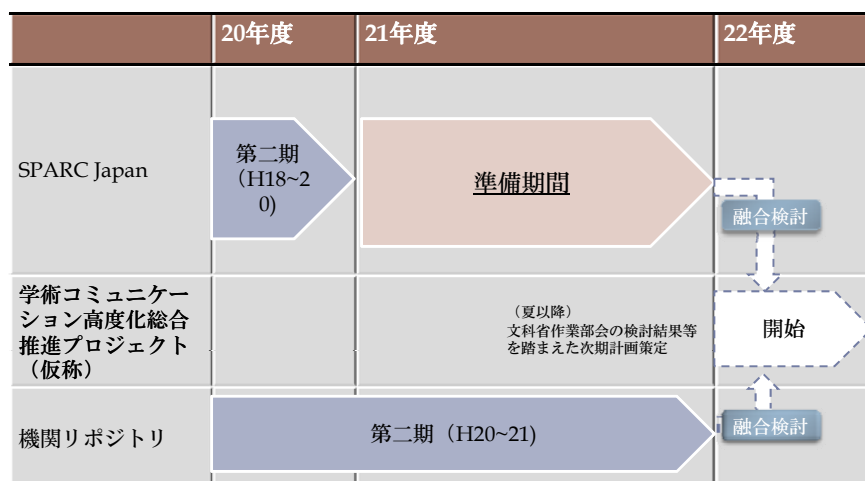
▶ 文部科学省

- ▶ 科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会において学術コンテンツに関する検討実施（21年夏ごろまで）。

平成21年度＝「新たな活動への準備期間」とする

▶ 3

スケジュール案



▶ 4

平成21年度における事業実施の枠組み案

名称

- ・「国際学術情報流通基盤整備事業」

体制

国際学術情報流通基盤整備事業運営委員会

※全体計画の策定

SPARC Japanワーキンググループ

※活動の企画・実施

パートナー誌

- ・個別財政支援は終了するが枠組みは継続
- ・大学図書館とともに今後の活動の核となることを期待

▶ 5

具体的活動に関する運営委員意見

継続すること	新たに実施すること
【ビジネスモデル】 ■コンソーシアムへの提案支援 ■合同プロモーション、ジャーナルプロモーション、ジャーナルの対研究者PR活動 【国際連携】 ■国際的な連携 ■海外との交渉窓口機能 【Advocacy活動】 ■SPARC Japanセミナー、学会向けセミナー、シンポジウム、訓練コース ■機関リポジトリフレンドリーなポリシー推奨 【コミュニティ形成】 ■より多くの関係者を含めたコミュニティ形成（参加者自身の費用負担も含む） ■図書館と学会の対話 ■パートナー誌との連絡継続 【情報収集】 ■会議参加 ■情報収集等支援の中核的機能	【リポジトリ】 ■SPARCとリポジトリ活動融合のための課題発見プロジェクト ■機関リポジトリフレンドリーな技術開発支援 ■機関リポジトリ振興支援 ■機関リポジトリ標準化 【国際連携】 ■国際的な学術情報流通改善活動との連携 ■Biodiversity Heritage Libraryとの連携 【Advocacy活動】 ■図書館向けセミナー ■人材育成 【コミュニティ形成】 ■学術出版に関するコミュニケーション強化 ■国内外図書館との意見交換 ■UKSG日本版 【情報収集】 ■海外学術情報関連の会議への派遣

▶ 6

具体的活動案

次期活動の検討

- 次期活動体制、計画策定
- リポジトリとの融合、コミュニティ形成のあり方の調査・検討

Advocacy活動

- SPARC Japanセミナー
- 大学図書館、研究者、学協会共通テーマを中心に
- SPARC Japanニュースレター

国際連携

- ARLとのMOU
- SPARC, SPARC Europe, Project Euclid, BioOne

その他

- 学術情報流通の改善に関連するプロジェクト支援